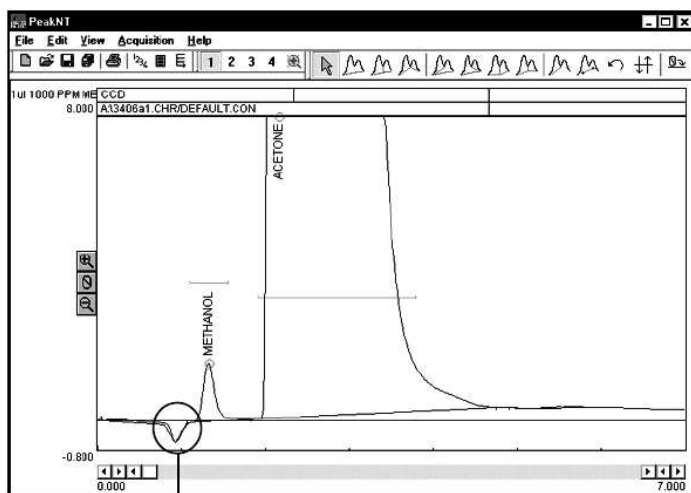


◆炭化水素などの分析

>CCD触媒燃焼検出器 ガスクロ用

CCD (Catalytic Combustion Detector) は、FIDと同様に全ての炭化水素類に対してTCDレベルの感度があります。検出器の直径は約1cmと小型で、センサー素子はコイル状の白金線（ヒーター）がビーズ状のセラミック触媒の中に埋め込まれています（右下図）。SRI社のGCでは、CCDは左下図のように、スウェージロックコネクター内に収納され、カラムオープンの外壁に装着します。カラムはオープンの側壁穴を通して直接CCDに接続されます。キャリアーには、窒素、ヘリウムなどの高純度不活性ガスは必要なく（Gas less GC）、コンプレッサー空気を使用します。



Negative water peak

Column = 1m Hayesep D
Flow = 37mL/min
Sample = 1 μ L 1000ppm Methanol/Ace
mix; direct injection

Isothermal Temperature Program:
Initial Temp Hold Ramp Final
130°C |10.00 0.00 130°C

RESULTS:		
Component	Retention	Area
Methanol	0.816	13.2
Acetone	2.000	694.8
Total		695.0